

- 9 みさきさんは、500円を持って買い物に行きました。1冊150円のノートを買って、残りのお金で1本50円の鉛筆を何本か買いたと思っています。何本の鉛筆を買うことができるでしょうか。()を使って1つの式に表し、その式を の中に書きましょう。

一つの式で表す
通過率 56.9%

解答類型		割合 (%)	年度 (内容)	割合 (%)
○	$(500-150) \div 50$	56.9	平成27年度 $(120-30) \div 5$	65.0
×	$(500-50) \div 150$, $(500 \div 150) \div 50$ など 500, 150, 50の全ての数と()を使って1つの式を作っているが、正しく求められないもの	10.1	平成26年度 $(40+60) \div 5$	77.8
×	上記以外の解答	29.9	平成25年度 $(70+30) \div 5$	71.6
—	無解答	3.1	平成24年度 $(30+70) \times 6$	75.5
			平成23年度 $(80+20) \times 6$	73.0

誤答を見ると、500, 150, 50の全ての数と()を使って1つの式を作っているが、正しく求められないものが10.1%で最も多い。問題文の意味を正確に理解し、それを式に表したとき、どのような演算を行えばよいのかが明確になっていないと考えられる。

内容の系統

第4学年 数量関係
・()を用いた式

第5学年 数量関係
・数量の関係の見方
や調べ方

第6学年 数量関係
・文字を用いた式

中学校第1学年 数と式
・文字を用いた式

提案 ()を用いた式で表す問題を通して、()の必要性や()を用いた式で表すことのよさを児童に実感させましょう。

- 一つの数量を表すのに()を用いることや乗法、除法を用いて表された式が一つの数量を表すことを確実に理解させましょう。
 - ・ 問題場面を式に表す際には、()を使う必要性のある問題とそうでない問題を意図的に出題することで、()の必要性を理解させる。
 - ・ 式から場面や一般的な関係を読み取ったりする際にも、()を用いる必要があることを振り返って考えさせることで、()を用いることや乗法、除法を用いて表された式が一つの数量を表すことを理解させる。
- 数量の関係を簡潔に表すことができるなどの、()を用いた式で表すことのよさを児童に分かるように指導しましょう。

()の中を先に計算すること、乗法、除法を加法、減法より先に計算することなどのきまりがあることを理解させることが重要です。それに加えて、()を用いなければ長く複雑な式となることを実感を伴って理解させ、()を用いることのよさに気付かせることで問題をよりよく解決することにつなげることが大切です。